

地震発生後の行動の目安

地震発生から
0～2分

自分の身を守る

転倒の恐れのある家具等から離れ、机等の下に身を隠しましょう。あわてて外に飛びださないようにしましょう。



地震発生
直後

出火防止・脱出口確保

ガスの元栓を閉め、コンセントを抜きましょう。火が出たら落ち着いて初期消火しましょう。ドア・窓を開けて脱出口を確保しましょう。



地震発生から
3日目まで

家族の安全確認、余震に注意

倒壊しかけた家屋に近寄らないようにしましょう。隣近所に声を掛け、状況により、徒歩で避難しましょう。

隣近所で消火・救出・救護

隣近所で協力し、消火、ケガ人の救出・救護にあたりましょう。



地震発生から
4日目以降

生活の維持と回復

4日目以降も災害（余震）に注意し、生活情報の収集にあたりましょう。復旧に向け努力しましょう。



帰宅困難者対策

警戒宣言の発令や大地震の発生直後、鉄道などの公共交通機関が運行停止された場合、被災後の従業員や学生など多くの人が帰宅できないことが予想されます。

企業や学校で事前の対策が大切です

- ・ 徒歩での帰宅が難しい、通勤距離の遠い従業員をあらかじめ把握しておきましょう。
- ・ 帰宅が困難な従業員の人数に応じて支援物資などを備蓄しましょう。
- ・ 徒歩で帰宅できるルートの確認をしましょう。
- ・ 「災害用伝言版」など家族との安否確認手段の利用方法を習得しましょう。

愛知県では、徒歩帰宅途中の水・食料の購入、トイレの使用など誰もが利用しやすい場所として、県内のコンビニエンスストア、ガソリンスタンドなどと「徒歩帰宅支援ステーション」の協定を締結しています。

阿久比町では、愛知県が設定した基幹的徒歩支援ルートを基に、周辺市町と調整し、「帰宅困難者徒歩支援ルートマップ」を作成しています。町ホームページまたは防災交通課で確認してください。